



# 能登教区通信

このたび、標記通信2021年6月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 幽溪 浩

## 教務所からのお願い

研修会等で来所の際は、マスク着用、咳エチケットや手洗い・うがいの励行など、十分な予防対策を施してご参加くださいますようお願いいたします。

また、今後の諸事業や会議の開催については、状況の趨勢に注視しながら対応について判断してまいります。あらかじめご了承ください。

## 教化事業・その他行事のご報告

### ◆法話冊子『能登教壇』第4号について◆ 広報部会

このたび、法話冊子『能登教壇』第4号を発行いたしました。各寺院に5冊贈呈いたします。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も教区同朋大会が中止となる中、法縁の一助としてご門徒や有縁の方々へお渡しいただきますようお願いいたします。

また、同封のチラシをご活用いただき、ご購入の際は教務所までご連絡ください。

なお、既刊の第1号～第3号につきましても在庫がございますので、あわせて奨励くださいますようお願いいたします。



最新刊  
第四号  
36頁

法話：馬川 透氏  
牧野豊丸氏

### ◆第18期連続教学講座◆ 総合教化本部

去る4月8日(木)～9日(金)の2日間にわたり、今期第3回「連続教学講座」が開催された。この講座は能登教区における教学研鑽の場として、1期2年で全8回開催されている。テキストは『浄土論註』、講師は藤場俊基氏をお招きしている。

今回の範囲は、下巻観行体相の大義門功德と一切所求満足功德。初日は、担当の3班が事前学習を踏まえた試訳と発題を行い、考究・座談が行われ、2日目に講義が行われた。

講義で藤場氏は、天親と曇鸞で大義門功德についての注目点が違うことを指摘し、さらに親鸞聖人が「かのくににうまれんとするものは、みなことごとく正定の聚に住す」(一念多念文意)と読まれた十一願成就文について示唆に富んだ考察を展開された。

〈第2組 西教寺 竹津篤義 記〉

### ◆真宗史講座◆ 研修部門

去る4月21日(水)に、第5組光琳寺住職木越祐馨氏を講師に迎え、「真宗史講座」が開催された。今回は、初期の本願寺についての講義だった。大谷廟堂の姿を絵画資料から考察し、『報恩講私記(式)』の成立について、本願寺の寺号についてお話された。

結論から言うと『報恩講私記(式)』の成立について、本願寺の寺号についてはどちらもはつき

りとわからない。資料となる文章が紛失されたのか、小さな庶民の教団だったため書き残せる人間がいなかったのか、残すべき資料は教えであり成立については書き残す必要が無いと判断されたのか、思いを巡らせながら講義を拝聴した。

氏は初見資料、教義、時代背景、他の先生の学説、あらゆる面から考慮しパズルを組み立てるように考察をお話しされた。これからの私のお聖教の読み方が変わりそうだ。

〈第7組 浄明寺 崖 超 記〉

### ◆帰敬式執行講習会◆ 総合教化本部

去る4月23日(金)開催の「帰敬式執行講習会」に参加しました。お寺離れが進む現状に対して地域のお寺としての存在意義、役割を人々に伝え、少しでも人と人とのつながりを取り戻し、深めていきたいとの思いからも、自坊での帰敬式の執行は良いきっかけになるのではないかと考えました。



講習会では、帰敬式の意義というお話を聞かせていただきましたが、これまで私は、仏法を伝えることはとても難しいことだと思い、「どのようにすれば伝えられるだろうか」ということに気を取られ、仏法に遇う喜びや感動を伝える情熱を、少し忘れていたのではないかと気づかされました。

帰敬式を受け、仏弟子として法名を授かることの意味を伝え、遇いがたい教えに出遇うことの喜びを共有しながら、つながりを強化していきたいと思えます。

〈第10組 福正寺 信樂明生 記〉

### ◆第18回大谷婦人法話会◆ 大谷婦人会能登教区連合会

去る4月10日(土)、済美精舎本堂において、「第18回大谷婦人法話会」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大により、教区の様々な事業が人数制限を設けて開催されているように、本会も例年500人ほどの参加者がある中、各支部3人の定員を設けて、日程も昼食無しの午後からの開催となりました。

講師には、昨年出講をお願いしていたが中止となってしまったことから小松教区同朋の会講師の上杉彰子先生に再度お願いをしてお話いただきました。コロナで不安の折、各地で仏事や法話会の中止や規模縮小となる中、いろいろな工夫により会が行われたことを喜ぶ声が聞かれました。

一方で人数制限をした場合の参加呼びかけの仕方、マスクをつけての法話は声が聞き取りにくい、会場の設営方法など、今後の大人数での教区諸事業開催に向けての課題もあきらかとなりました。



### ◆第50回教区同朋大会◆ 総合教化本部

今年度の同朋大会は、新型コロナウイルス感染症の石川県独自の緊急事態宣言発令により中止となりました。これまで、同朋大会実行委員の皆様には度々会議を重ねていただき、大会テーマ・趣旨文の作成、講師の選定、日程内容の企画などに精力的に取り組んでいただきました。

しかし、上記のような状況によりまして中止せざるを得ないこととなりました。今回の大会に向けて企画・準備にご尽力をくださいました方々、また、大会に参加を予定されておられました方々には、昨年に続いてのことで、大変申し訳なく思います。

つきましてはここに、実行委員の皆様が思惟を重ねて作成していただきました「趣旨文」を掲

載します。皆様にも是非ご一読いただきたいと思いますし、また何かの機会に有縁の方々と、この趣旨文に提起されている課題や願いについて語り合い、共有していただければ、同朋大会の意義にも相応するのではないかと思います。

又、参加記念品として予定いたしておりました『能登教壇』第4号を、各寺院へ5冊ずつ贈呈いたします。ぜひ、今後の教化伝道にご活用くださいますようお願い申し上げます。

## 第50回能登教区同朋大会 趣旨文

### つながりの再生

#### ～お念仏をつなぐ～

能登教区同朋大会は、混迷した時代社会の闇の中に身を置く私たちが、宗祖親鸞聖人が顕かにしてくださった本願念仏のみ教えに出会い、自らの生活を問い直し、お互いの課題を確かめることを目的として毎年開催しています。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の中、社会生活は一変しました。

目には見えませんが確実に人々に影響が及んでいることを不安に感じたり、そこからの差別も生じている反面、「新しい生活様式」（ソーシャルディスタンスや外出制限、行事の中止等）で強制的に人との関わりを制限されることにより、今までにあったつながりの大切さや当たり前前に生活してきたことへの自由や安心感などの気付きがあったのではないのでしょうか。

教区同朋大会がはじまった約50年前（1970年代）もオイルショックや連合赤軍事件などがあり、社会生活に不安や苦悩を感じ閉塞感をかかえていたのではないかと思います。そんな時代だからこそ、同朋会運動や仏事を通して教えに出会っていく大切さに気付いてほしいという願いがあったのではないのでしょうか。

結局、今も昔も時代や環境が変わっても人の苦悩は同じで、そこに教えが必要なことには変わりありません。

だからこそ、今回の50回記念大会の節目にあたって、先達がつなげてきてくれた同朋大会から、人と生まれた私とその願いや教えに改めて気付き、次の人達に手渡しつなげていきたいと思えます。

## 本山・教区事務についてのご連絡

### ◇教区内門徒の『同朋新聞』6月号への記事掲載について◇

標記記事について、第6組西慶寺門徒 松岡竹千雄さん（前教区門徒会長）へ取材された（経塚幸雄出版通信員/第5組真覺寺住職）記事が掲載されました。ぜひ、御一読ください。

### ◇組長補欠選挙について◇

去る5月10日、第12組組長辞任に伴う補欠選挙が行われ、次の方が当選されました。

組長 美濃 晃 (還來寺) 敬称略

## ◇諸届の提出について◇

**6月末が会計年度末の寺院・教会の皆さま、届出準備はお済みですか？**

責任役員・総代の選定は、法人運営に必要な不可欠なものであり、宗教法人法や宗門法規において定められています。寺院会計年度と責任役員・総代の任期が同じという寺院が多くあります。

任期切れ並びに任期終了間近の御寺院につきましては、同封しております届出用紙に記入・押印いただき、教務所まで届け出ください。提出に際し、ご質問等ございましたら教務所までご連絡ください。

※届出用紙は、宗派公式ホームページからダウンロードの上、A3サイズでプリントいただくか、教務所までご連絡いただきましたらお送りいたします。

※「事務所備付書類写し」も毎会計年度終了後3か月以内に作成し、県庁へ提出しなければなりません。こちらもお忘れなきようお願いいたします。

## ◇本山経常費完納寺院◇(2021.4.1～4.30迄)

2020年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	極楽寺	第7組	正覚寺
第3浜方組	浄蓮寺	第8組	行念寺
第3山方組	徳満寺	第12組	徳照寺
第6組	立善寺		

## ◇宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃志金完納寺院◇

(2021.4.1～4.30迄)

2019年度より募財をお願いしております慶讃志金につきまして、ご完納いただきありがとうございます。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第8組	行念寺	第12組	榮林寺
-----	-----	------	-----

## ◇代務者就任◇(教区通信5月号 掲載以降)

第1組 慈雲寺 塚本 祐紀恵 (三条教区第18組等運寺衆徒) 2021年4月20日

## ◇敬弔◇(教区通信5月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第12組	傳流寺	前住職	高津 禎	2021年4月24日
第11組	龍光寺	住職	藤秀 善昭	2021年4月30日

※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。適宜ご活用ください。

能登教区教化テーマ ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう

能登教区教化スローガン 一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を

慶讃テーマ 南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう

能登教区ホームページアドレス URL <http://ohigashi-noto.jp/>